

3 地域別の振興方針 — 13の地域自治組織 —

十日町市では、地域の身近な課題は、地域住民の自らの判断と責任で、自主的・自立的に解決を図るという地域自治の考え方に基づき、地域振興につながる事業を実施するための地域自治組織を設立しています。

地域別の振興方針は、地域自治組織を母体とし、今後の地域づくりを推進するため、市内13の地域ごとの位置付けや役割・振興方針を示したものです。

※十日町市では、平成の市町村合併以前の市町村単位を「地域」とし、昭和の合併以前の村単位や振興会単位の区域を「地区」としていますが、本総合計画では、地域自治組織の呼称とあわせ、「地域」と表記しています。

(1)十日町中央地域

十日町中央地域は、十日町駅の東側に位置し、本町通りをはじめとした商店街や越後妻有里山現代美術館 MonET、越後妻有文化ホール「段十ろう」、児童センター「めごらんど」などの拠点施設が集まる中心市街地を有しています。また、十日町地域の母都市として経済・観光・文化の中心であるとともに、地域交流及び情報発信拠点の役割を果たし、市街地の活性化に向けて取り組んでいます。

本地域は、拠点施設を核として市街地に活力とにぎわいを創出し、コミュニティの活性化を図るとともに、空き地・空き家・空き店舗の活用促進により市街地の活性化を進めます。また、あらゆる世代が安心して暮らせるよう、見守りや支え合いの環境づくり、防災・防犯対策の推進など、住民の生活の質の向上と力強い地域組織づくりを目指します。地域全体で新しいまちづくりに向けて「課題を解決、この先もずっと暮らせる地域社会をつくる」をキャッチフレーズに取組を進めます。

(2)高山地域

高山地域は、中心市街地に隣接し、西側は信濃川に接しています。保育園や高等学校が立地しているほか、幹線道路沿いには大型店などの商業施設が集積し、住宅地と商業地のバランスがとれた生活環境にあります。高山コミュニティセンターを拠点として地域内の各種団体が地域発展のために活動し、地域課題の解決に努めています。

本地域は、地域コミュニティの機能をさらに強化し、幼児から高齢者まで各世代を超えた地域住民や関係団体との交流・連携を推進します。また、交通安全対策の向上と防災組織の体制強化を図り、居住環境の向上、防災・安全意識の高揚を目指して、「安全で安心に暮らせる郷土（たかやま）、豊かな心を地域で育む郷土（たかやま）」をキャッチフレーズに取組を進めます。

(3)十日町西部地域

十日町西部地域は、ほくほく線十日町駅の西側に位置し、新潟県立十日町看護専門学校をはじめとする文教施設、新潟県立十日町病院や新規開業されたクリニックなどの医療施設を有しています。大型商業施設や宿泊施設の進出が続いている下島地区と隣接し、その高い利便性から新築住宅も増え、子育て世代を中心に活気あふれる地域となっています。

本地域は、ほくほく線十日町駅の玄関口としての情報発信拠点の役割を強化するとともに、地域コミュニティの一層の向上を図ります。また、地域住民の利便性を図るためアクセス道路の整備や交通安全・防犯設備の充実など、安全・安心への取り組みを継続します。災害に強く、安心して快適に住み続けられる地域の実現をめざして、「安全・安心で住み継がれる地域づくり」をキャッチフレーズに取組を進めます。

(4)十日町南地域

十日町南地域は、中心市街地の南側に隣接し、国道 117 号と 253 号が通過・交差する交通の要所であり、上越魚沼地域振興快速道路の整備が進められています。また、市役所などの官公庁のほか、工業団地や福祉施設を有し、東側には八箇・六箇の中山間地があり、西側の平場には住宅街が形成され、住民が一体となって地域づくりに努めています。

本地域は、十日町道路による地域内外とのアクセス性の向上や十日町警察署の移転など、交通体系の大きな変化を見据えた地域づくりを推進します。里山の観光資源を生かした誘客の推進と都市機能の充実を図り、住民同士の交流・コミュニティの向上など「”南”の和・輪 示そう元気・活力・地域力！」をキャッチフレーズに取組を進めます。

(5)中条飛渡地域

中条飛渡地域は、信濃川右岸の河岸段丘に広がる自然豊かな地域です。国宝・火焰型土器の出土地である笹山遺跡をはじめ、歴史的遺産やスポーツ施設を有しています。また、多角経営を行う農業生産法人や付加価値米の生産販売を行う NPO 法人、女性経営者による農産物の加工販売や農家民宿など、多様な活動が展開されています。さらに、地域おこし協力隊などの外部人材も活用しながら、地域の魅力を生かした地域活性化に取り組んでいます。

本地域は、国宝「火焰型土器」の出土地である笹山遺跡において、新たな拠点施設を中心とした地域活動やイベントなど、地域内外との交流による地域活性化を図ります。また、里山の魅力をあわせて発信することにより、「自然に親しみ歴史に学び～みんなでつくろう夢のある郷土」をキャッチフレーズに取組を進めます。

(6)大井田地域

大井田地域は、中心市街地に隣接する住宅街と、その周辺に広がる田園地帯からなり、市道高山太子堂線には消防本部庁舎やヘリポートが整備されています。地域内には、デイサービスセンターや高齢者住宅などの福祉施設のほか、間伐した木材を燃料とするバイオマス発電所が立地しています。また、県指定文化財の神宮寺観音堂・山門や大井田の郷公園など住民の憩いの場もあり、地域住民は様々な分野で積極的に活動しています。

本地域は、居住環境などの基盤整備や防災対策の充実を図るとともに、大井田コミュニティセンターを拠点に住民の活動・交流・親睦を推進します。また、神宮寺周辺の魅力を向上させながら「歴史と文化にふれあい安心して住み続けられる大井田地域をめざして」をキャッチフレーズに取組を進めます。

(7)吉田地域

吉田地域は、信濃川の西側の段丘に位置し、上越方面、柏崎方面をつなぐ結節点にあります。中心市街地に近いながらも圃場整備された水田と豊かな自然を有する里山が広がっています。大地の芸術祭の人気作品「絵本と木の実の美術館」から中心市街地まで市営バスが運行され、多くの地域住民から利用されています。また、国際スキー連盟公認の吉田クロスカントリー競技場や信濃川運動公園などを有し、スポーツが盛んな地域です。

本地域は、吉田の名の通り「田んぼが吉」となるように一層の農業振興を図るとともに、十日町道路十日町西 IC（仮称）の整備を想定した地域づくりに努めます。また、文化芸術分野や教育分野なども推進しながら、一人ひとりが地域の未来に関わることを大切にし、「心を合わせ 吉田地域の未来を一步ずつ」をキャッチフレーズに取組を進めます。

(8)下条地域

下条地域は、十日町市の北側に位置し、整備された田圃が広がる平場地域と美しい棚田風景の里山地域からなっています。NPO法人が運行する市営バスが平場と里山を結ぶとともに、地域内にはコミュニティ活動や交流の拠点となる施設が整備されています。また、地域の中央部には医療機関や高齢者施設、認定こども園が集積され、福祉施設を核とした地域づくりが進んでいます。

本地域は、子どもから高齢者までの充実した福祉対策や地域防災体制の強化、住民のニーズに応じた拠点施設の活用を図ります。また、野首遺跡や新保広大寺節など歴史・伝統文化の保存・継承、大地の芸術祭や雪まつり等を通じた交流活動など多様な取組を積極的に展開し、「豊かな自然、確かな絆、明日に向かうふるさと下条」をキャッチフレーズに取組を進めます。

(9)水沢地域

水沢地域は、信濃川東側に苗場山麓の台地が広がり、自然を活かしたリゾート施設や体験型観光資源が充実しています。豊富な飲食店や、古民家をリノベーションした宿泊施設など、多様な魅力を備えています。また、交通アクセスの向上や市道整備が進み、都市との交流も盛んです。大地の芸術祭作品「Kiss&Goodbye」の舞台である土市駅と越後水沢駅を観光・交流の拠点とし、交流人口の増加と地域活性化に取り組んでいます。

本地域は、十日町道路十日町 IC（仮称）周辺の整備や大規模営農の活性化とともに、若者も参加できる地域コミュニティの場の創出を図ります。水沢地区市民センターや数多くの地域資源を活用しながら「明るい未来を！安心安全、元気で豊かな水沢を造ろう！」をキャッチフレーズに取組を進めます。

(10)川西地域

川西地域は、信濃川左岸に広がる河岸段丘に位置し、緑豊かな田園地帯に美しく整備されたほ場を有し、5つの灌漑用ダムからの用水により生産される魚沼産コシヒカリや風味豊かな蕎麦、味わい深い日本酒、そしてブランド豚「妻有ポーク」などがある食の宝庫です。また、川西地域内で出される生ごみや豚ふんなどの有機資源を堆肥化し、利活用する資源循環型農業にも取り組んでいます。

本地域は、環境負荷軽減や大規模な農地集積、そして後継者育成などに一層力を入れ、先進的な生産地域を目指していきます。また、高齢者が笑顔で毎日を送れるよう、千手温泉を核とした「賑わい空間」での交流、道の駅「瀬替えの郷せんだ」の拠点強化、NPO法人による高齢者・障がい者支援など、住みよい地域づくりに努めていきます。

観光面では、眺望豊かな河岸段丘にあるナカゴグリーンパーク及び節黒城跡周辺の再整備を進め、文化観光の新たな拠点づくりに取り組んでいます。

子どもから高齢者まで安全で安心して住み続けられる地域を目指して「住んでしあわせ 来て幸せ 笑顔で暮らせるふるさと川西」をキャッチフレーズに取組を進めます。

(11) 中里地域

中里地域は、国道 353 号と 117 号が交差する主要アクセス結節点として、首都圏や北信州からの南の玄関口として位置づけられています。信濃川や清津川、釜川などの水資源に恵まれ、良質な水稻や野菜生産が盛んであるほか、近年は大型きのこ工場が進出するなど、農業が主産業の地域です。また、複数の特別養護老人施設やなかよし保育園など、高齢福祉や子育て環境の充実した地域でもあります。

観光面では、日本三大峡谷に数えられる清津峡をはじめ、七ツ釜や小松原湿原など、豊かな自然が育む観光資源に恵まれています。年間 30 万人を超える観光客が訪れる清津峡渓谷トンネルは、国内外から大きな注目を集める、新潟県を代表する観光スポットに成長しました。この注目を契機に、新たなビジネスも生まれています。今後、市内への観光客の回遊を促進することで、自然景観を有効に活用した民間活力の導入が期待されるエリアです。

本地域では、地域の中心であるユーモール周辺の土地利用を再検証するとともに、清田山キャンプ場などのアウトドア施設をはじめとした地域資源の磨き上げを進めます。雪や自然がもたらす地域特有の価値を創造することで、農業と観光資源を活かした観光業を通じた地域経済の活性化を目指し「守ろう豊かな自然。育てようふれあいの中里」をキャッチフレーズに掲げ、取り組みを推進していきます。

(12) 松代地域

松代地域は、十日町市の西の玄関口となるほくほく線まつだい駅と国道 253 号が近接し、人の流れの拠点となっています。まつだい駅の南口には数々のアート作品が点在するまつだい「農舞台」フィールドミュージアムが広がっています。

これまで世田谷区や早稲田大学、東京松代会などとの都市交流のほか、大地の芸術祭などのイベントや「まつだい棚田バンク」の取組によって、都市住民や学生などとの多様な交流が広がりを見せています。また、古民家再生の取組が進められ、地域景観の魅力向上や移住促進にもつながっています。さらに、地域おこし協力隊を積極的に受け入れ、定着率も高く地域の活性化に繋がっており、隊員が企画したトレイルランレースが開催されるなど新たなイベントも生まれています。

本地域は、棚田の景観やアート資源を活用した観光振興に取り組むとともに、通い農や二地域居住の促進によって関係人口を増加させ、地域に関わる多様な人材の受け入れや活躍の場の創出を通じて、地域経済の活性化を図ります。

地域住民が安心して快適に住み続けられる地域を目指して「住み続けたいまちやすらぎの里まつだい」をキャッチフレーズに、住民とともに取組を進めます。

(13) 松之山地域

松之山地域は、長野県に接し美人林など豊かなブナ林と、800年の歴史を持つ日本三大薬湯「松之山温泉」や「留守原の棚田」に代表する棚田が全域に広がり貴重な農山村の原風景を残しています。

農林業では中山間地の特性を活かした棚田米をはじめ、全国トップクラスの生産量を誇る菌床ナメコが高い評価を得ています。観光業では、若手経営者によってリニューアルされた松之山温泉街の人气が高まっており、多様なイベントの開催や温泉熱発電の導入など、新しい取組を進める温泉街として注目されています。移住定住においては、農山村の魅力を地域おこし協力隊員が体験、発見することで定住に繋がっています。また、まつのやま学園の雪里留学では、雪里特有の自然体験と生活体験に根ざした特色ある学びを求め、移住者が増加しています。

本地域は、次世代を担う人材を確保するために、雪里の暮らしを体験する移住・定住ツアーや、地域おこし協力隊の定住促進に取組み「豊かな自然の中で、いきいき・のびのび 松之山」をキャッチフレーズに、安心して暮らせる地域づくりを進めます。